

# 図解と解決策の決定

情報の科学 第10回授業

02情報社会と問題解決

対応データ: 19exp10.xlsx

# 問題発見と整理について

- 1 幅広くアイデアを広げ、まとめる(広げる)
  - フレームワーク、ブレインストーミング
  - アイデアカード

情報分析！

- 2 原因をより深く考える(なぜなぜ)
  - ロジックツリー、連関図、特性要因図
  - IE図
- 3 解決策をより具体的にしていく(どうすれば)
  - ロジックツリー、特性要因図
  - IE図

# 情報分析

☆データに対し、適切な分析方法を理解する  
「定量」と「定性」(メソッドP.72)

- 数値化されたもの(定量的なデータ)
  - 集計してグラフ化、統計処理

前回と今回の  
内容！

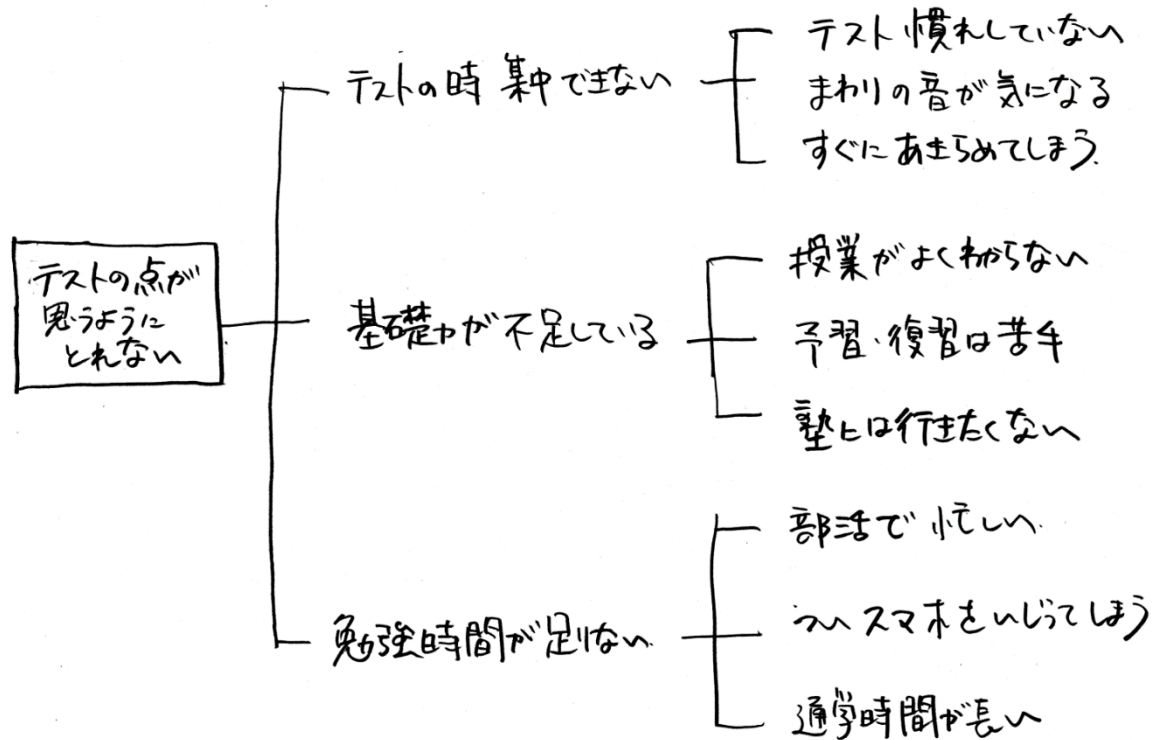
- 数値化されていないもの(定性的なデータ)
  - テキストマイニングなどで数値化、分析
  - 同じような内容ごとにまとめて数値化
  - 関係性や因果関係、順序などを図解

# 定性的なデータを表す(教. 資料5)

- 関係を表す図
  - イメージマップ(キーワードマッピング)
  - ロジックツリー、特性要因図(フィッシュボーン)
  - ベン図、プロセスチャート、ピラミッド図 など
- プロセスを表す図
  - ガントチャート、PERT図
- 相対的な特性を表す
  - 座標軸、マトリックス図

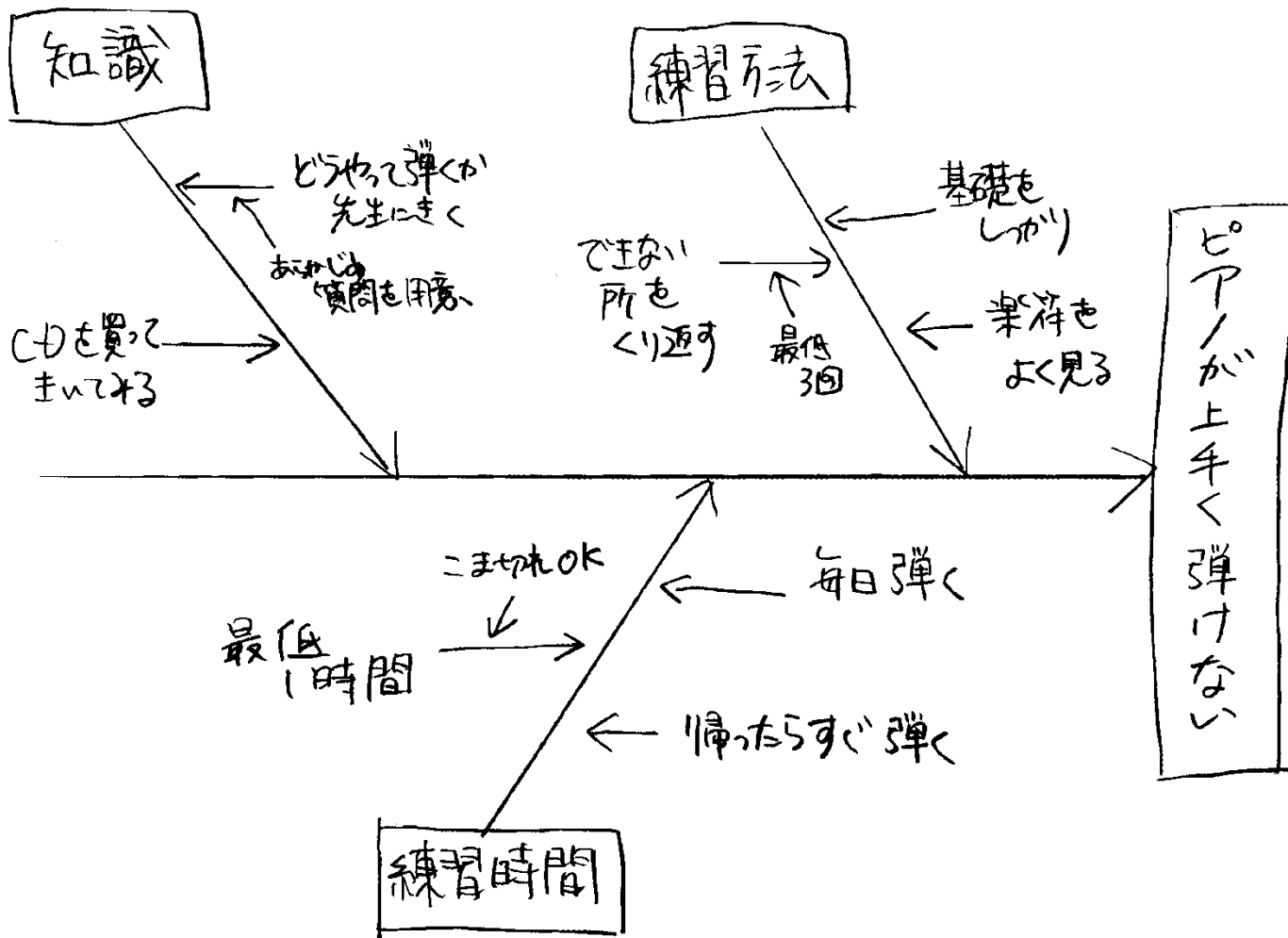
# 図解の例(1)

## • ロジックツリー



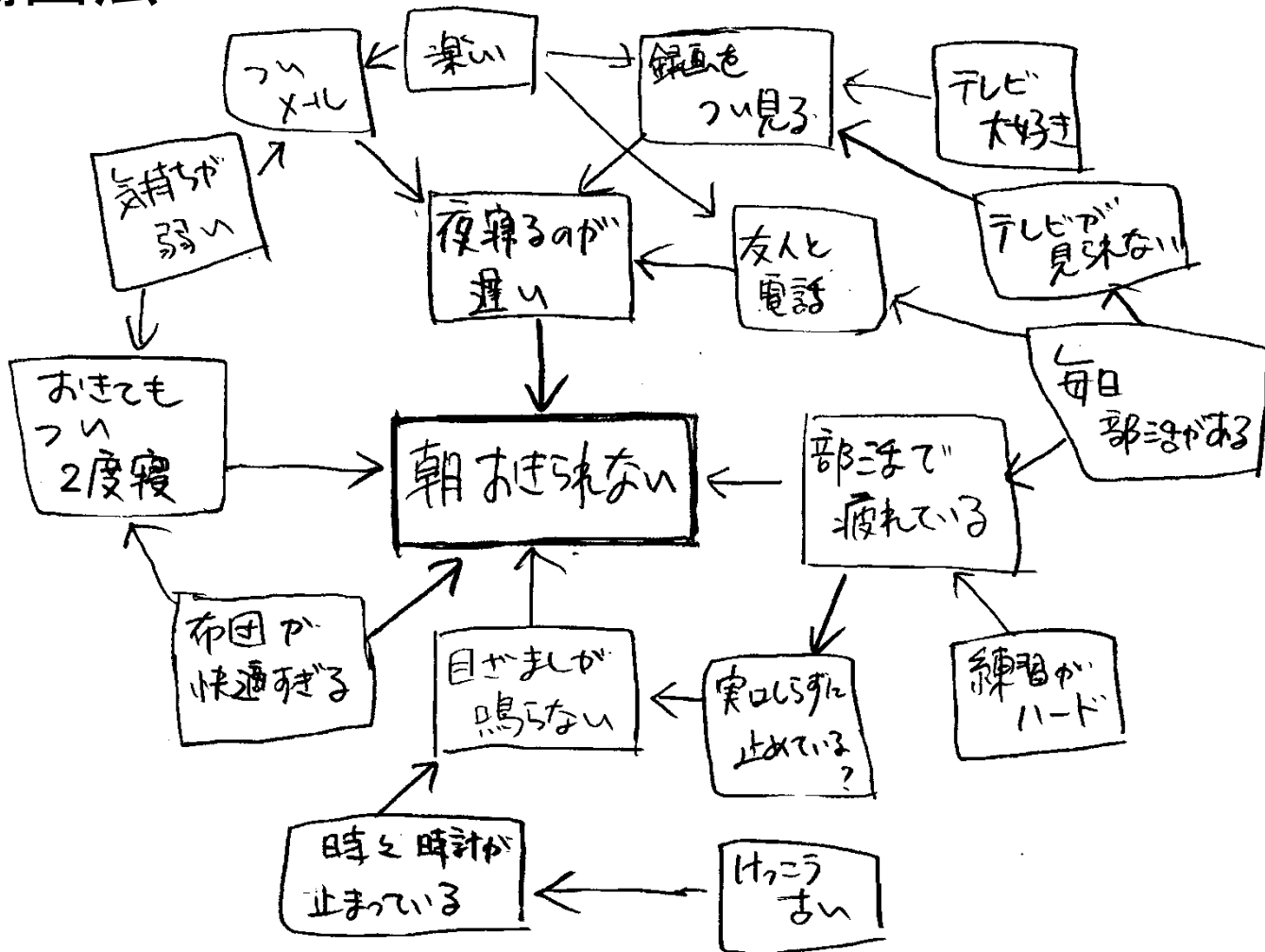
# 図解の例(2)

- Fish Bone図(特性要因図)



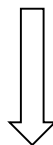
# 図解の例(3)

## ・ 連関図法



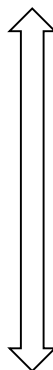
理想

いい点取りたい



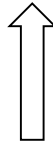
具体的な理想

数学 I で80点



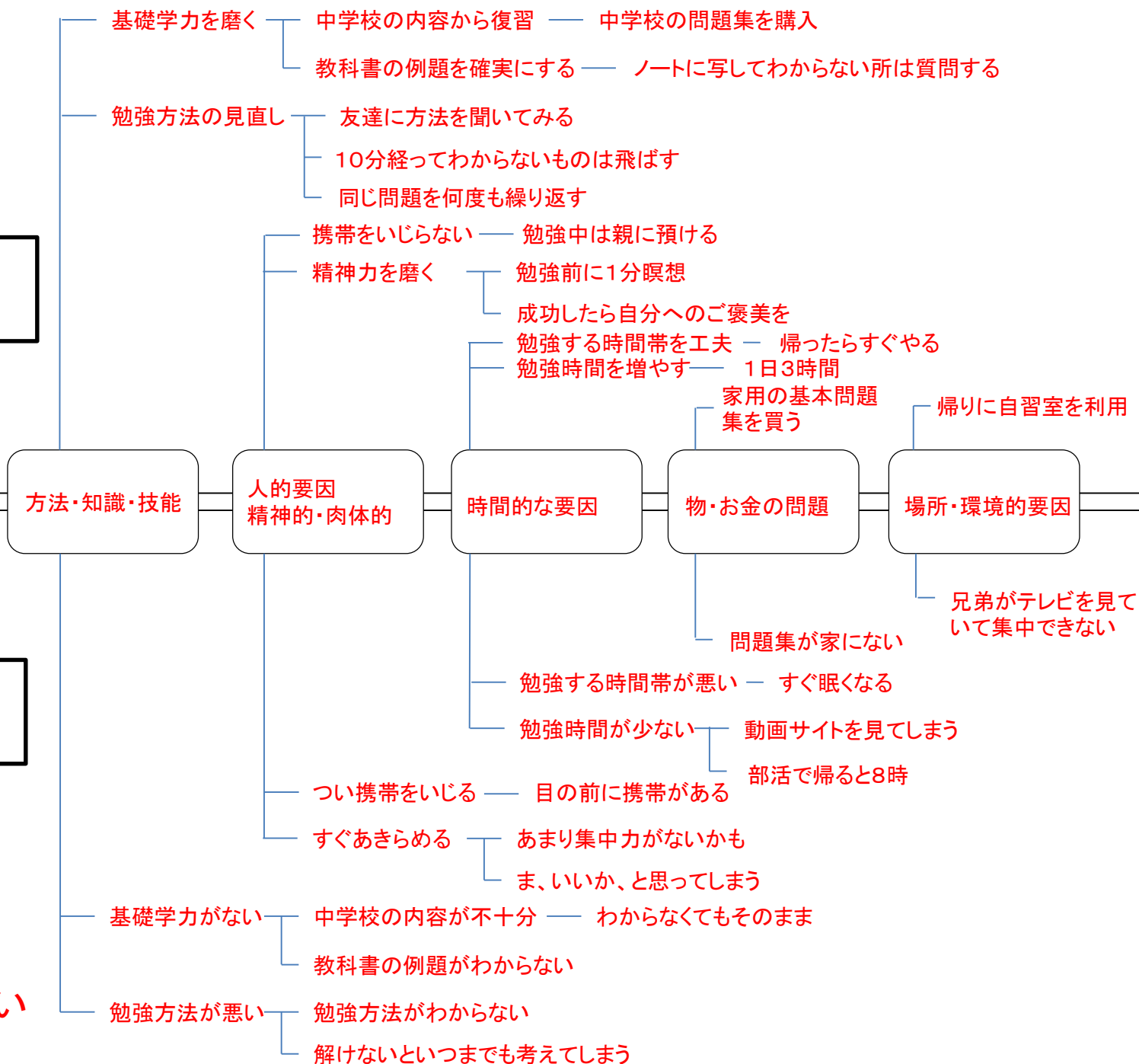
具体的な現実

数学 I が40点



現実

テストの点が悪い





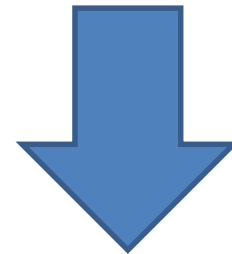
# 解決策の決定

ロジックツリー

ブレイン  
ストーミング

IE図

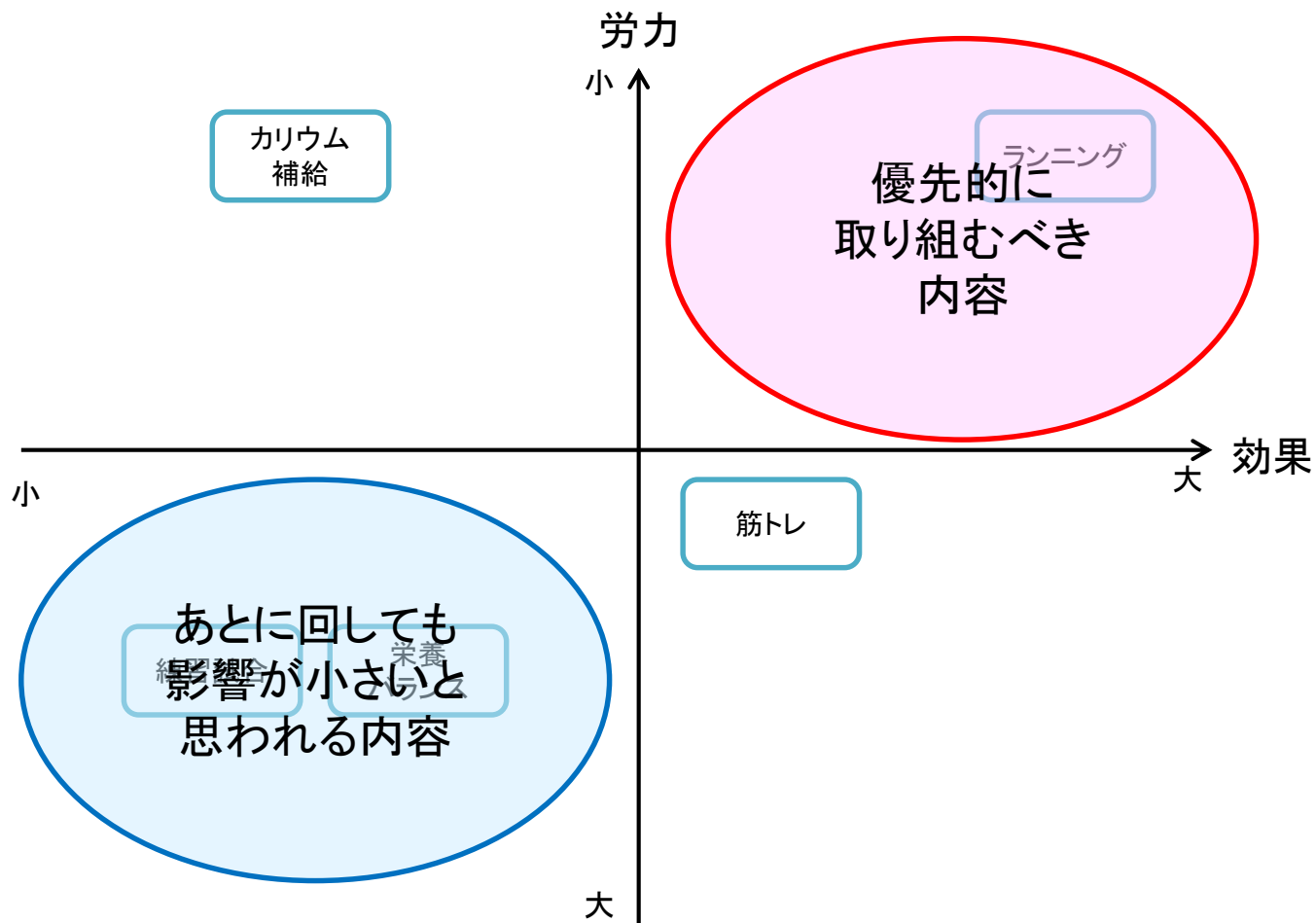
見やすくまとめる



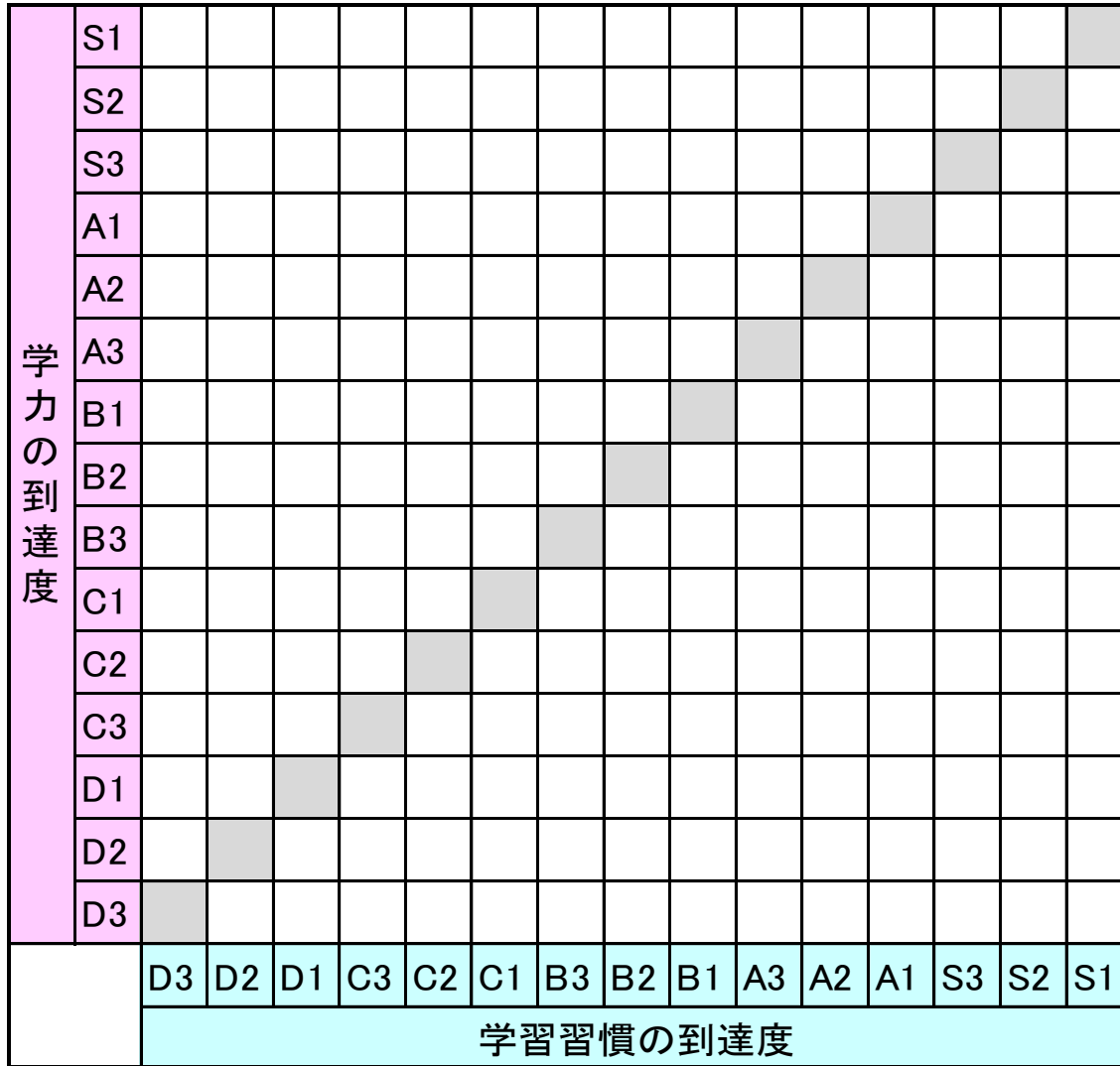
解決策の  
合理的・論理的な決定

# 挙げられた内容の評価

- 座標軸: 2つの異なった視点をもとに、事柄を分類配置
  - 「グラフ型」「4象限型」など、いろいろな型で表現される

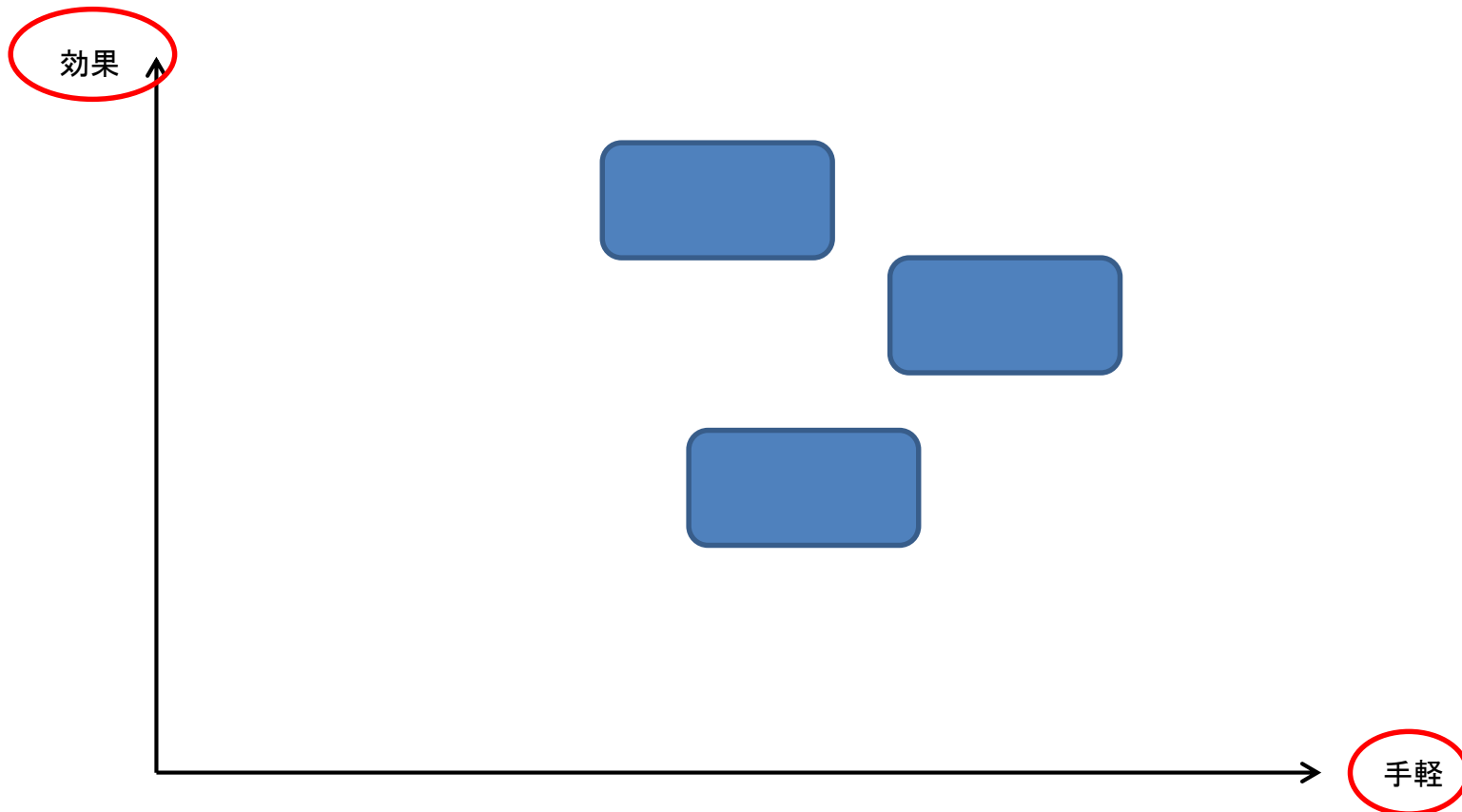


# 実はお世話にも・・・



# 演習1

- PowerPoint を立ち上げ座標軸を作成する。
- 評価用の短冊を3~4つほど作成する



# 演習2

- 解決策を評価する。
  - ペアの相手とIE図を交換する
  - 相手のIE図の解決策から、鍵となりそうな解決策を3～4つほど選択する
  - 短冊に打ち込む
  - 「手軽さ」「効果」という2軸で配置する。

# 演習3

- 座標軸を相手に見せながら、30秒間で聞き手に解決策を提案しよう。
- 聞き手はコメント・ツッコミ一切禁止。